

## 工事事務(速報)の情報提供について

工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところではありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事務が発生しました。

各事務(管理)所の工事現場において、このような工事事務が再び発生することのないように工事事務概要を皆様にお知らせ致します。

本資料を活用し、請負業者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願い致します。

### 【工事事務(速報)発生状況】 (H21.5.31現在)

	5月発生件数	累計件数	死亡者数	負傷者数
平成21年度(今年度)	16件	19件	0人	11人
平成20年度(昨年度)	6件	8件	0人	4人

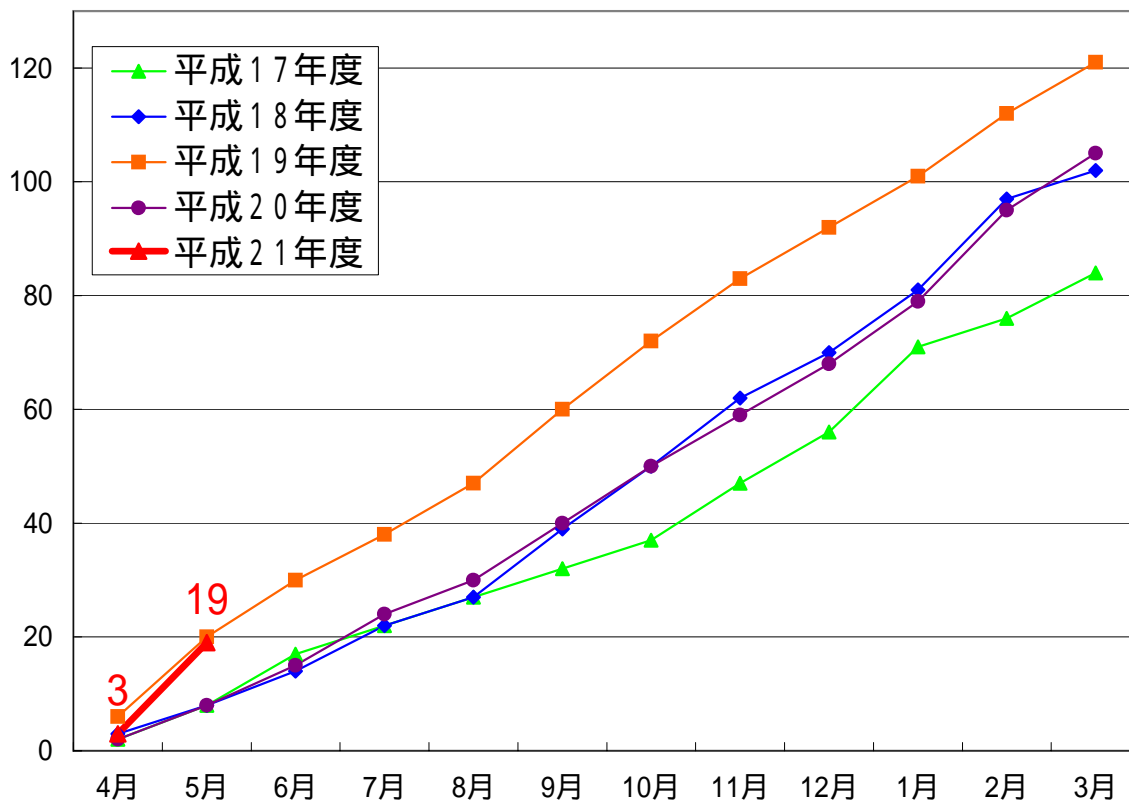
注1) 上記は、関東地方整備局管内の工事事務発生件数(速報)を示す。

注2) 「5月発生件数」は、5/1～5/31の間に起きた件数。(月毎分)

注3) 「累計件数」は、4/1～5/31の間に起きた件数。(累計分)

注4) 「死亡者数」・「負傷者数」は、4/1～5/31の累計人数を示す。

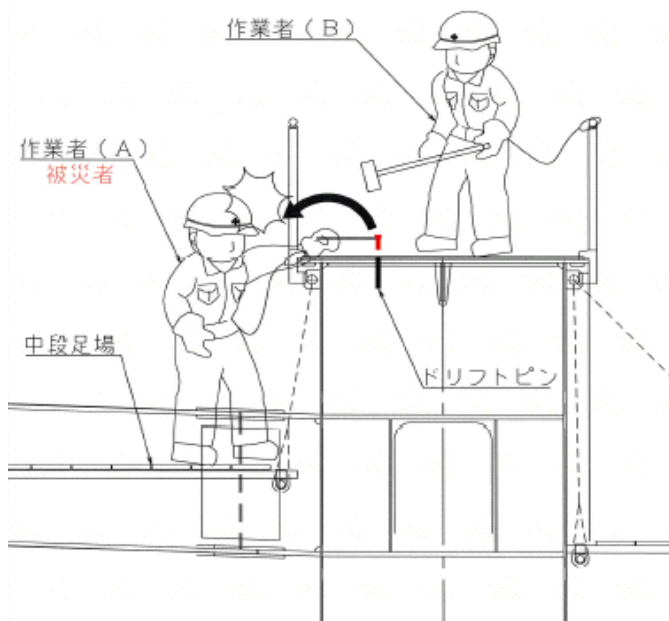
注5) 平成21年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。



問合せ先:企画部 技術調査課 渡辺・平井 (TEL 048-600-1332)

発生日時	平成 21 年 5 月 4 日 ( 月 ) 10 時 45 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 鋼橋上部工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	19	作業員	右眼瞼裂傷	
事故概要	上フランジ部のドリフトピンでピンの抜き取り作業を行っていたところ、ハンマー打撃の衝撃で仮ボルトが跳ね返り、作業員の顔面に接触し、負傷したもの。				

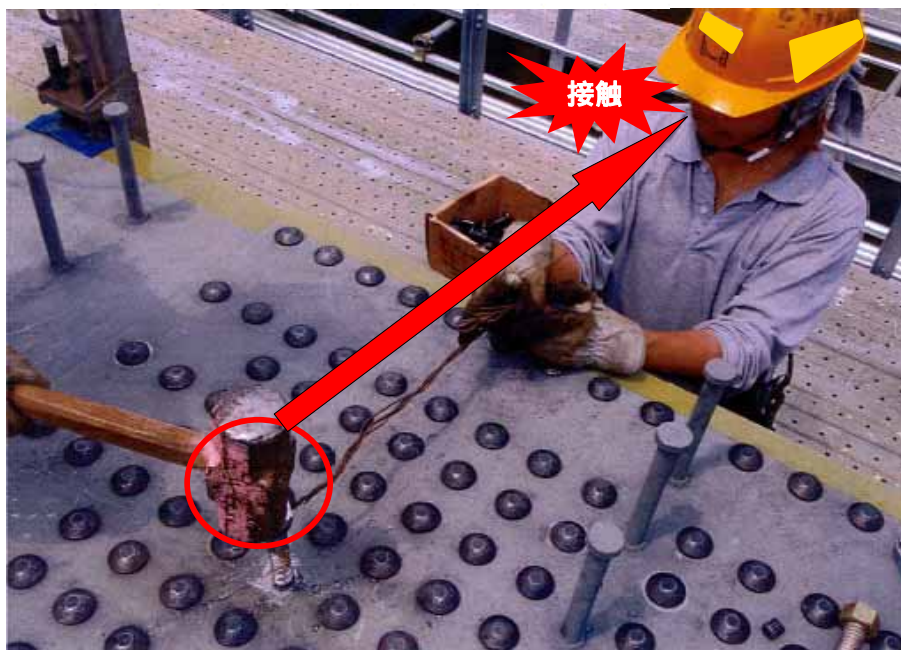
## 事故状況図



・上フランジ部のドリフトピンの抜き取り作業を行っていた。

・ピンが抜けなかったため、右図のような治具を用いてハンマー打撃を行った。(使うべきは倉庫にあったが、近くにあった別の治具で作業を継続してしまった。)

・結果、治具が作業員に跳ね返り、負傷した。

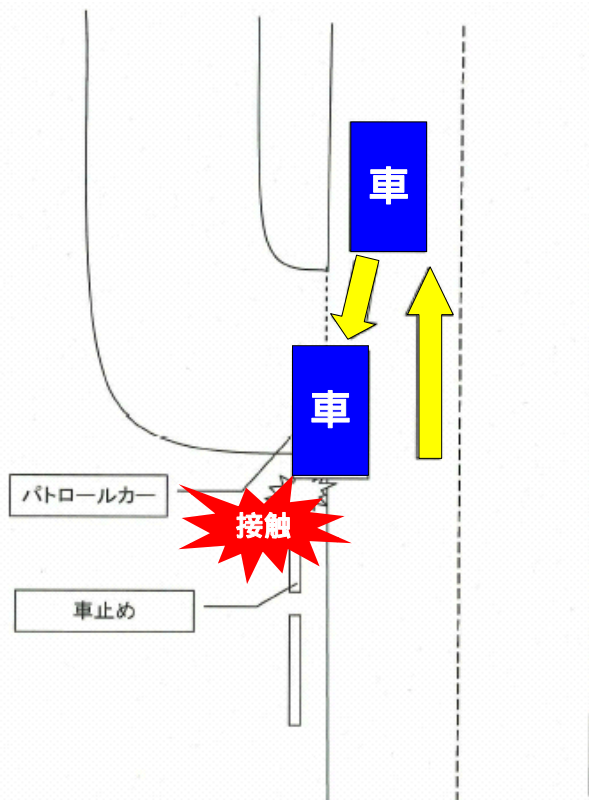


### 【速報段階での事故発生原因(推察)】

・誤った工具を用いて作業を行ったこと。

発生日時	平成 21 年 5 月 7 日 (木) 10 時 13 分			天候	雨
工事情報	河川系事務所 役務				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	市所有の車止め損傷・パトロールカー損傷	
事故概要	河川巡視中に本来の道を誤り、後退したところ、市所有の車止め及び車両後部のバンパーを損傷させたもの。				

## 事故発生状況



- ・河川巡視を行っていた。
- ・本来のルートを通り過ぎてしまったため、後進して本来のルートに戻ろうとした。
- ・後進した際、市所有の車止めに気づかず、車後方部と接触し、損傷させたもの。

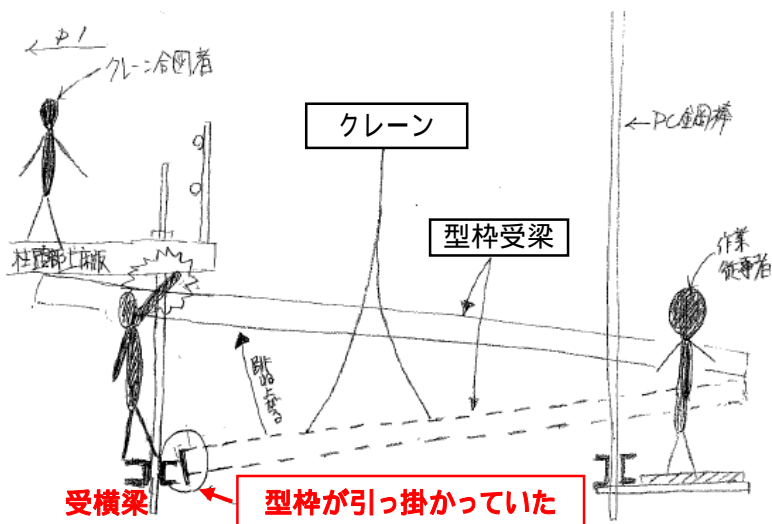


### 【速報段階での事故発生原因(推察)】

- ・後方確認不足による公衆損害。

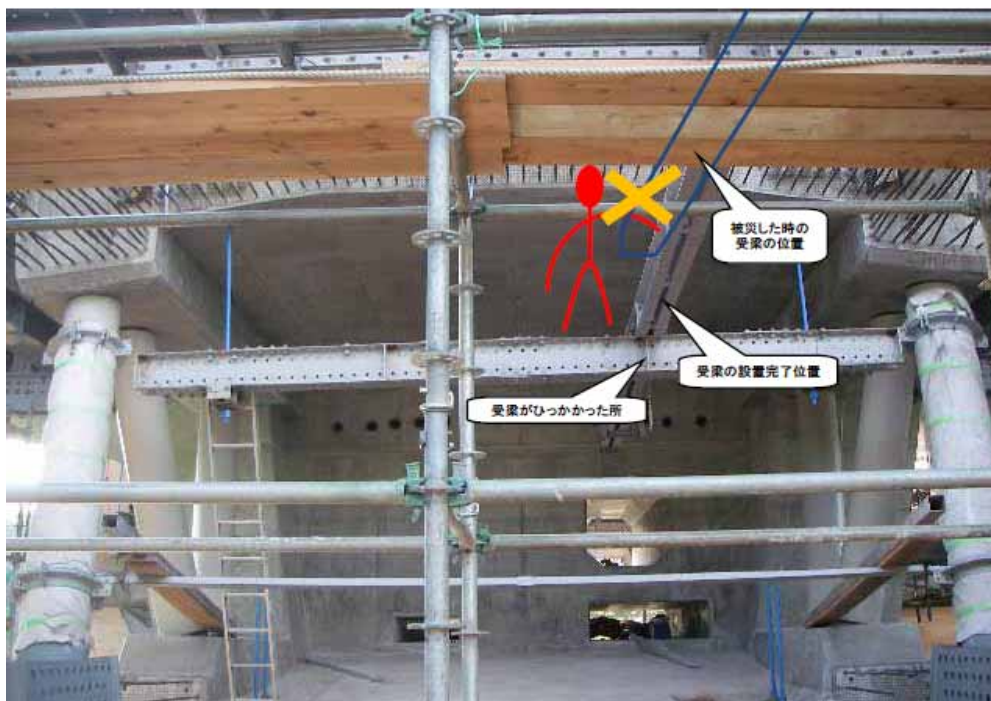
発生日時	平成 21 年 5 月 8 日 ( 金 )	14 時 55 分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 PC工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	24	作業員	左上腕部骨折
事故概要	縦梁組み立て中に型枠梁が横梁に絡み、取り外そうとしたところ、突然絡んでいた部分が外れたため、反動で作業員に接触し、負傷したもの。			

## 事故発生状況



・クレーンにて、型枠受梁を下ろしたところ **受横梁に引っ掛かってしまった**。

・引っ掛かった部分を取り外そうと徐々に上方向に引っ張ったところ、**急に受け梁が跳ね上がり**、作業員に接触した。

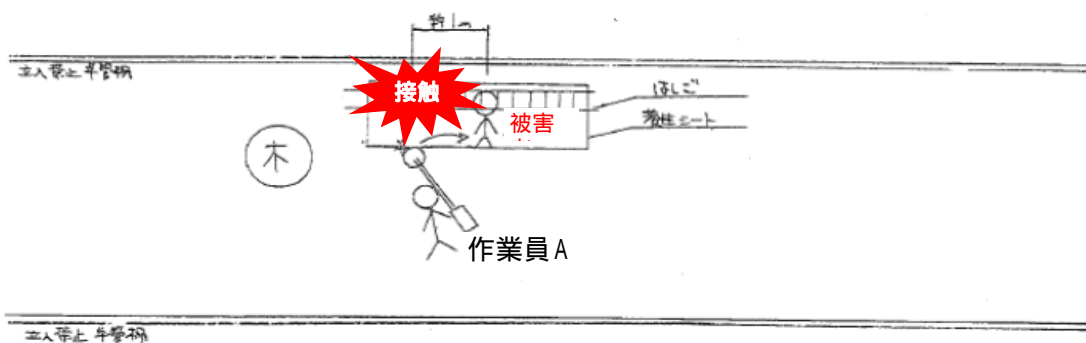


### 【速報段階での事故発生原因(推察)】

・クレーンの取り扱い方法不適切によるもの。

発生日時	平成 21 年 5 月 11 日 ( 月 ) 11 時 30 分			天候	雨
工事情報	河川系事務所 河川浚渫工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	56	作業員	左足裂傷 右足腱付近負傷	
事故概要	草刈機が作業員に接触し、負傷させたもの。				

## 事故発生状況



・作業員2名で肩掛け式除草機を用いて除草作業を行っていた。

・作業員Aの刃先が石に接触し、その衝撃で刃が跳ね、片方の作業員の足に接触した。

### 〔速報段階での事故発生原因(推察)〕

・作業半径内に人が立ち入っているなど、安全管理不十分。

発生日時	平成 21 年 5 月 14 日 ( 木 ) 16 時 0 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 PC工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	32	作業員	右手薬指先端部損傷	
事故概要	架設機械の解体作業中、作業員が鋼材に指を挟み負傷したもの。				

## 事故発生状況

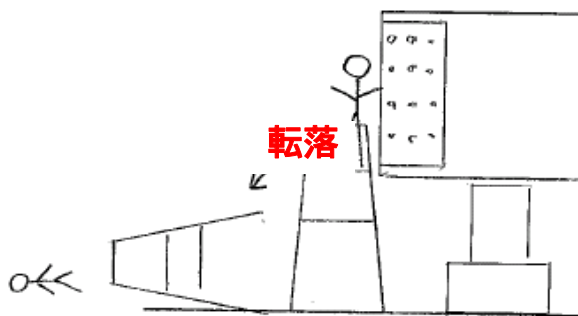


### 〔速報段階での事故発生原因(推察)〕

・鋼材の移動方法が不適切。

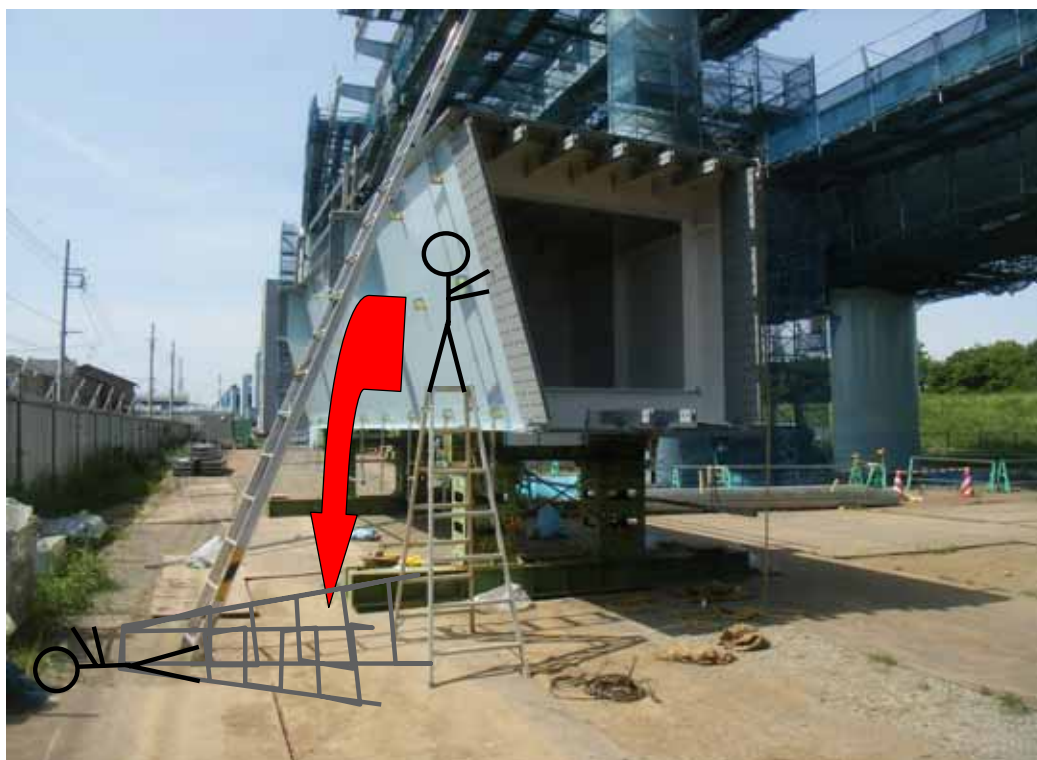
発生日時	平成 21 年 5 月 15 日 ( 金 )			9 時 5 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 鋼橋上部工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	男	67	作業員	肋骨骨折		
事故概要	主桁架設準備のため、脚立を用いて主桁ウェブの添接板の仮締めボルトを緩めていた際、作業員がバランスを崩し、脚立から転落、負傷したもの。					

## 事故発生状況



・脚立に上り、添接板の仮締めボルトを緩めていた。

・作業中にバランスを崩し、脚立 (1.8m) から転落し、作業員が負傷した。

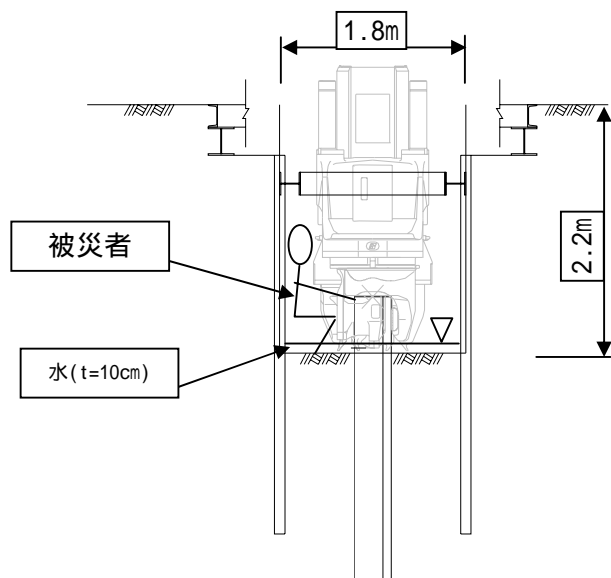


### 【速報段階での事故発生原因(推察)】

・高所作業における安全対策不十分。

発生日時	平成 21 年 5 月 17 日 ( 日 )			3 時 55 分	天候	曇一時雨
工事情報	道路系事務所 一般土木工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	男	38	作業員	電撃症		
事故概要	継手溶接時に作業員が感電し、負傷したものを。					

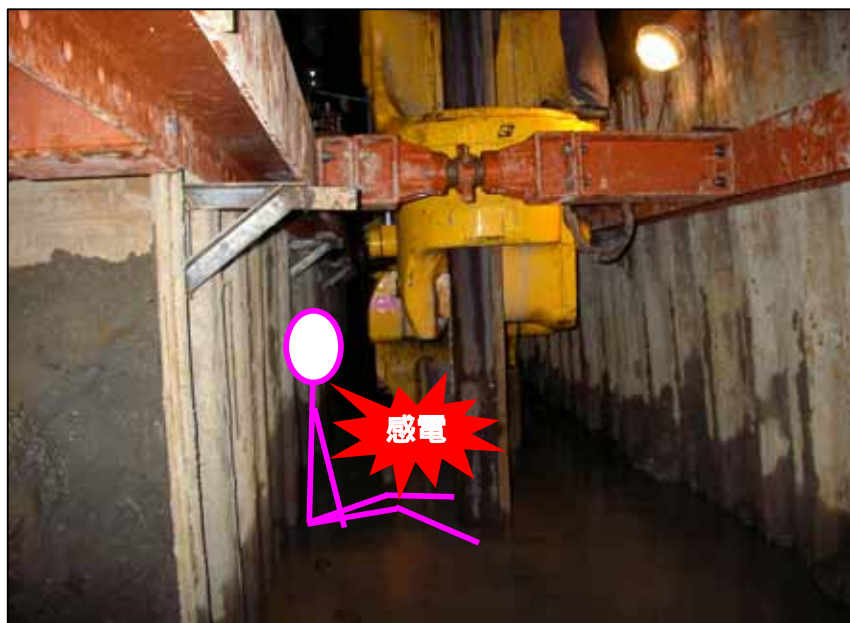
### 事故発生状況



・綱矢板の圧入作業中、上杭と下杭を溶接していたところ、作業員が感電した。

・足元には地下水とウォータージェットによる水が10cm程度溜まっている状態だった。

・胴付長靴を着用していたが、皮手袋で作業しており、手袋が濡れたことにより感電したと考えられる。



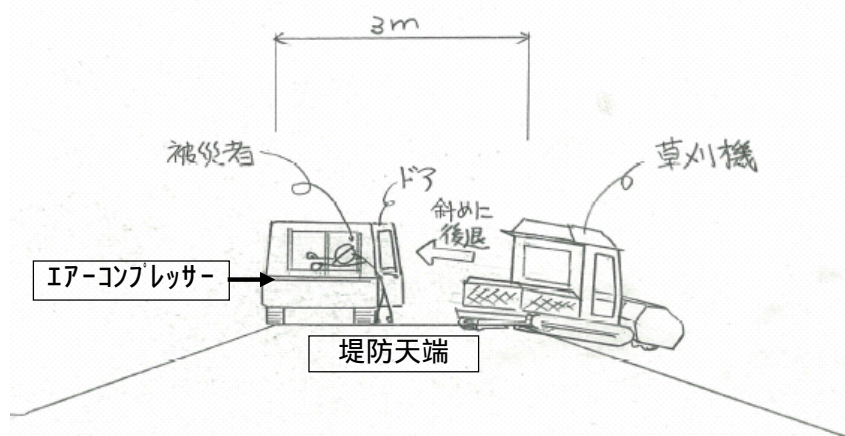
#### 【速報段階での事故発生原因(推察)】

・感電に対する安全対策が不十分である。



発生日時	平成 21 年 5 月 18 日 ( 月 ) 12 時 40 分			天候	晴
工事情報	河川系事務所 維持修繕工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	67	作業員	両足大腿部打撲及び両足切傷	
事故概要	除草作業の休憩時間中、ハンドガイド式除草機械を清掃するため、堤防天端に駐車中のエアコンプレッサーを積んだダンプに近づいたところ、ダンプのドア付近で作業していた別の作業員に接触し、負傷させたもの。				

## 事故発生状況



・休憩時間中、ハンドガイド式除草機械を清掃するため、エアコンプレッサーを積んであるトラックの横に移動した。

・その際、トラックのドア付近にはヘルメットを取ろうとしていた作業員がいた。

・ドア付近にいた作業員に気付かず、除草機が後退を続け、ドアに接触し、作業員が挟まれた(左図参照)



### 【速報段階での事故発生原因(推察)】

・合図なしで後退するなど、周囲の安全確認不十分。

発生日時	平成 21 年 5 月 18 日 ( 月 ) 13 時 23 分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 維持修繕工事		
被災の状況	性別	年齢	職種
	被災の程度		
事故概要	水位観測用ケーブル切断		
事故概要	除草作業中、水位計から観測所へ水位データを送るためのケーブルをハンドガイド式除草機械にて切断してしまったもの。		

## 事故発生状況



・元請けから工事前に、ケーブルがあることを作業員に口頭で伝えていた。

・作業員もケーブルがあることは認識していたが、**実際にケーブルがどこにあるかまでは把握しないまま作業を行っていた。**

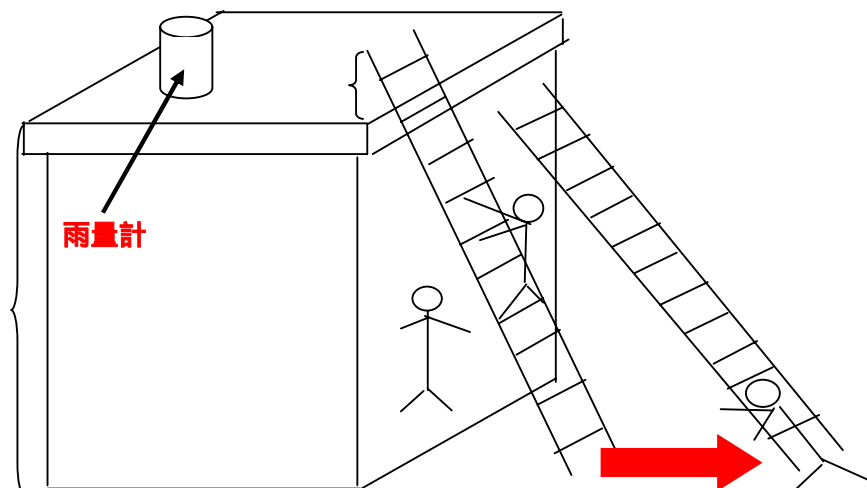


### 【速報段階での事故発生原因(推察)】

・作業員への周知方法及び危険物の確認が不十分。

発生日時	平成 21 年 5 月 18 日 ( 月 ) 13 時 30 分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 業務		
被災の状況	性別	年齢	職種
	男	63	作業員
事故概要	被災の程度		
	左足手首複雑骨折		
事故概要	雨量計の点検のため、雨量観測所の屋上に脚立(はしごとして使用)を用いて使用したところ、脚立が滑り、転倒し、作業員が負傷したもの。		

## 事故発生状況



・雨量観測所屋上の雨量計を点検しようとした。

・脚立を登っていたところ、足元が滑り、脚立とともに作業員が落下したもの。  
(地面が湿っており、滑りやすい状態だった)

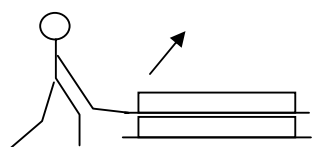


### 【速報段階での事故発生原因(推察)】

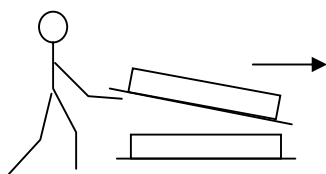
・脚立(はしご)を使用する際の滑り止め対策不十分

発生日時	平成 21 年 5 月 18 日 ( 月 ) 20 時 45 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 As 工事		
被災の状況	性別	年齢	職種
	男	48	作業員
事故概要	被災の程度		
	右手人差し指裂傷		
事故概要	現場で使用するための分岐桝を資材置場からトラックに積もうとしたところ、足元が滑り、持ち上げていた蓋と下の蓋との間に手を挟み、作業員が負傷したもの。		

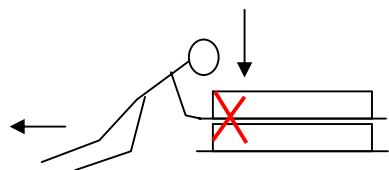
## 事故発生状況



1、蓋の端部を持ち上げる。



2、蓋を前方に押す。



3、足元が滑り、前方に倒れ蓋に指を挟まれる。

・当日、現場で使用する分岐桝をダンプトラックに積む作業を行っていた。

・本来であれば蓋に専用フックを取り付けてクレーンで持ち上げるところ、**手順を省略し、ワイヤーのみで持ち上げようとした。**

・ワイヤーを掛けるため、分岐桝を持ち上げ、位置を変えようとしたところ、足元が滑り、前方に倒れ込んだ。

**専用フック**



### 【速報段階での事故発生原因(推察)】

・正しい手順を省略したため。

発生日時	平成 21 年 5 月 19 日 ( 火 )	11 時 30 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
				架空線損傷
事故概要	ラフタークレーンを用いて資材を運搬していたところ、上空の架空線(東電)にアームが近接し、放電が発生。周辺世帯(40,000件 10秒間)に停電が発生したものを。			

## 事故発生状況



放電したため、クレーンの先端が焦げ付いた

・クレーンにて鋼材を移動させていた際、**上空の架空線に近接し、放電した**ため、周辺世帯で停電が発生。

・架空線直下にラインを引いたり、注意喚起旗を設置するなどしていた。

・**作業時、監視が不十分**だった。

### 【速報段階での事故発生原因(推察)】

・架空線に対する配慮不足によるもの。

発生日時	平成 21 年 5 月 22 日 ( 金 )	10 時 20 分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 維持修繕工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
				第三者車両の窓ガラス破損
事故概要	ハンドガイド式除草機により除草中、飛び石し、信号待ちをしていた第三者車両の窓に接触、破損させたもの			

## 事故発生状況



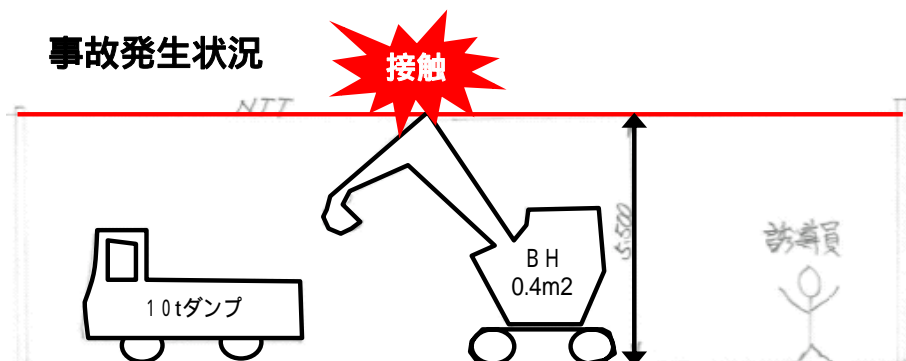
- ・堤防天端をハンドガイド式除草機にて除草を行っていた。
- ・作業中の飛び石により、近接道路を走行中の第三者車両の窓ガラスに接触し、破損させたもの。
- ・**近接する道路に対する飛び石対策は実施していなかった。**

### 【速報段階での事故発生原因(推察)】

- ・第三者車両等に対する安全対策不十分。

発生日時	平成 21 年 5 月 22 日 ( 金 )	15 時 50 分	天候	曇
工事情報	道路系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
				架空線 (NTT引き込み線) 切断
事故概要	建設予定地内の道路を撤去中、バックホウにて架空線 (NTT線) を切断。周辺世帯1件に影響あり。			

## 事故発生状況



・As舗装の撤去作業をしていた。

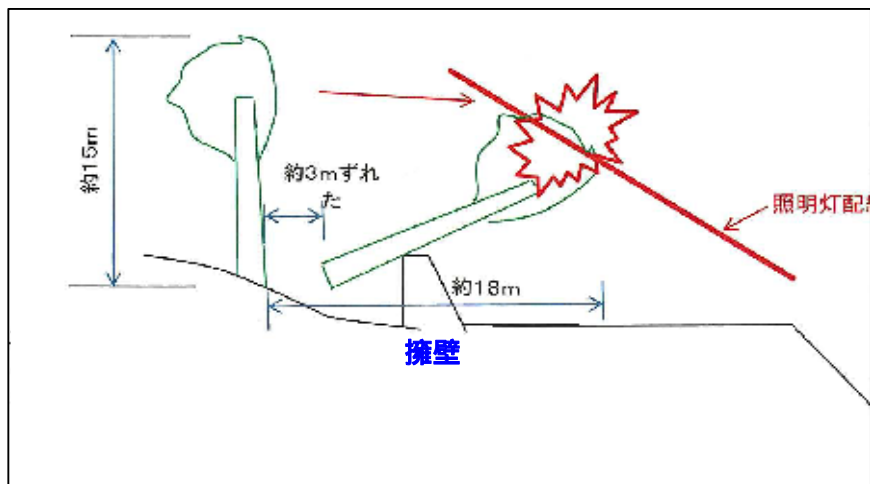
・As魂をダンプトラックに積み込む際、アームが上空の架空線に接触し、切断させたもの。

## 【速報段階での事故発生原因(推察)】

・架空線に対する注意喚起不足によるもの。

発生日時	平成 21 年 5 月 26 日 ( 火 )	11 時 40 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 維持修繕工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
				道路照明灯の架空線切断
事故概要	法面の樹木伐採作業中、道路照明灯の架空線に接触し、切断させたもの。			

## 事故発生状況



・高所作業車にて、枝払いをしながら伐採を行っていた。

・高所作業車で届かない部分を残したまま幹を根元から切断した。

・その際、**道路脇の擁壁に接触**した後、道路照明灯の架空線に接触、切断したものの。



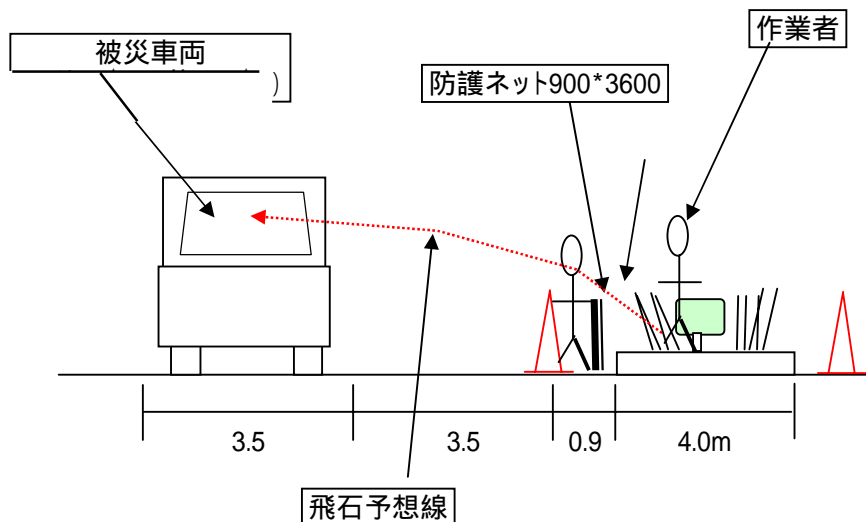
### 【速報段階での事故発生原因(推察)】

・架空線に対する注意喚起不足によるもの。



発生日時	平成 21 年 5 月 27 日 (水) 15 時 30 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 造園工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	第三者車両 リアガラス破損	
事故概要	除草作業中の飛石により、走行していた一般車に接触し。窓ガラスを損傷させたもの。				

### 事故発生状況



・現場は路肩規制を行い、植栽帯内の除草作業を行っていた。

・別の作業員が**飛散防止ネット**を持ち、飛び石対策を行っていた。

・しかし、**除草機械の刃先と飛散防止ネットが離れすぎていた**ため、ネットの高さを超えて、石が飛散した。



作業状況



損傷状況

**【速報段階での事故発生原因(推察)】**

・飛散防止対策方法が不十分であること。